おやばと歌壇

長岡　千尋　選

年重ね涙腺ゆるみやすくなり悟られぬようメガネ拭くふり　新潟　渡邉　康男
終活の何かざわざわ落ち着かず心の内を自らに問う　岡山　赤堀千恵子
彼の夏に君よりもらいし朱色古稀を過ぎても見ればときめく　大分　大島　里美
野辺の道名は知らねども小さき花八十路の我を今日もなぐさむ　岡山　入江　佳子
毀れたるところ自ら立て直し庵を見に行く途回りして　和歌山　橋本みい子
野も山も夏の木立も緑濃し朝れし屋の赤き雀見ゆ　青森　一戸　勇
青き海にのぞみて思ふいつさいは海にぞ生れて海に尽きなむ　富山　正源　一枝
好物のカボチャサラダを食すればこの味だよねサラダ記念日　富山　正源　孝志

〈選者作品〉

夏潮のうねりに大きく傾きゆくヨットよ宮帆に夕陽かがやく

（葉書で三首以内、一月・五月は十五日、その他の月は二十日必着）

歌壇鑑賞

渡邉康明氏・「眼鏡」を詠んだ短詩型文学の傑作のひとつが、日野草城の「見えぬ目の方の眼鏡の玉も拭く」だろう。晩年の作者の心境が一句に現れていて、この何気ない行為に、かすかなおのの きを感じ、同時に人は誰ごころに感動し、自己の内部に向かって何かを見ようとするだろう。一この歌は老いのメガネが主題である。作者はただその事を淡々と詠るように詠んでいて、巧んでいるのではない。そこには自身の内眼と外の世界を隔てる薄い透明なメガネだけがある。それが現実に見えるものを歪めたり、存在させたりする。何もない日常にわれわれはメガネを通して見、また外して見てみる。その惜られぬようふるまう作者の行為に、人生と時のすべてが凝縮している。

赤堀千恵子氏・この歌は、辱生歌でもなく自然詠でもない。己がこころの襞を叙述しようとしたものだ。いわば心理詠に属するものであろう。この「ざわざわ」が伝えようとする作者の内面の動きは、不安をともなっているのだが、それをただ心の音のみで表現している。これは現代の困った現象をテーマにする。「終活」というマスコミの煽動の中で、それを傍意になって詠る者の手に陥るなかれ。私などは「終活」に反対である。いわば、仏教の無念からする「不安」の押し付けだ。人格と魂の否定だ。人は、中（なか）今（いま）を精一杯生きられねばならない。それが人としての尊厳だ。

大島里美氏・青春はすでに過ぎ去ったものと悲しむなかれ。老いても青春のかがやきは胸にもある。一この歌に教えられたのである。

〈千尋〉

※編集局からお願い・葉書裏にも住所・お名前をご記入ください。

おやばと俳壇

榎　利風　選

涼しさやリハビリ室の研修生　島根　安食美津子
梅雨入りや昆布茶する昼餉あと　同　加齢とともに何らかの不調を抱えるのが人間、リハビリ室で
涼感謀す研修生に違う、やる気と元気を言う。　岡山　赤堀千恵子
ゴミ出しやざんばら髪に夏帽子　同　晩酌は猪口の半分冷やし酒
早朝のゴミ出し、さっさと済まそうとするが寝起きのこと、自
嘲的であるが景色が見える。
立葵仰ぐ高さに終の花　鹿児島　中園美智代
初蝉のひと声鳴きてまた黙と　同　立葵は花が咲き上ったら梅雨明けと言われる。猛暑の季節到来
かとの感慨が伝わってくる。
梅雨寒や今年も亡夫のチョッキ着て　愛媛　岩部　喜子
蒼風や鏑の配念樹五十年　同
斑猫や地図に配置のなき庵　滋賀　駒野　牧堂
この峡の暮しの幅の溝浚へ　同
巨人めく向日葵の花天を突く　福岡　清水ミツ子
青田風君へのしこり消え失せり　同
暑き日は熱き濃き茶を好みけり　秋田　戸沢ケイ子
会生とは後の青春わらび採り　同
法螺の音の峰に絹す山開き　静岡　宮本　立男
岩場よりハーケンの音夏山路　同
兄逝きてなんの古里夏祭　新潟　中条　讓
板の間に寝るは至福の夏に入る　同
吊り橋に目くらむ思ひ夏の山　喜山　正源　一枝
汗みずくガラス職人棒を吹く　同
バス停にいつもの時間日傘の娘　新潟　岩佐香洋子
肩に余る鍋を運べる蝉一途　同
曇の間に暗暗たりし梅雨の月　福岡　高木　柴一
なるようになれとくらげのひとりごと　同
父の日や辛寿のわれに鰻飯　長崎　長与　八天
緑蔭に杖にすがりて勝ざする　同
白き腹空に自在の夏燕　千葉　前之園亮一
冷そうめん車味となせる庭の紫蘇　同
のどじまん出場祝ひいかのぼり　新潟　佐々木　進
戸を外し見通しの良き夏座敷　同
打ち寄せる波にはしやげる海開き　島根　吉塚
咲き初めの匂ひかぐはし百合の花　同
籐籠めの比叡に響く雄一打　愛知　臼田　松旅
里帰り二つ三つ見ゆ紅蓮　同
釣り人の魚籠に釣果の鮎一尾　島根　大畑　成子
漆黒夜無我の悟りや螢舞ふ　同
鼻息に粉立ち昭ふ麦こがし　埼玉　花岡　芳孝
満ち足りて眠る子なきすひかづら　同
田植終へ腰を伸しゐる毛夫婦　島根　橋本　雅夫
笹巻や骨休めせる農繁期　同
練習後眠るラーメン玉の汗　埼玉　長坂　均
息子にも青春の恋青田風　同
不審船領海蛇行昇の峰　静岡　尾田　禎三
野球書の懸かる子の部屋夜の秋　同
庭手入れ鳥ほとりに舞ふ夏の蝶　青森　一戸　勇
自転車の陽炎なかに走りゆく　同
真楯の田植田面の広さかな　愛知　駒田　乗子
板の間に寝るは至福の夏に入る　同
ゆるゆると梅雨前線北上中　喜山　正源　一枝
熊蝉動冬眠明けの八甲田　同
汗みずくガラス職人棒を吹く　新潟　岩佐香洋子
バス停にいつもの時間日傘の娘　同
肩に余る鍋を運べる蝉一途

（葉書で五句以内、一月・五月は十五日、その他の月は二十日必着）

健康の扉

第123回

質問　「梅毒」とは、どのような病気ですか？

回答・新型コロナウイルス感染症の影に隠れて猛威をふるっている感染症があります。

そう「梅毒」です。

梅毒は性感染症の一種であり、語るのもタブーとされる風潮はありますが、今回はタブーを踏み越えて語らせていただきます。

世界三大感染症はHIV・AIDS、マラリア、結核ですが、日本における新規患者報告数（2022年）はHIV・AIDS約900人、マラリア約30人、結核約1万人。

その一方、梅毒は22年で約1万人、23年で約1万5千人と、右肩上がりで増えています。

質問　「梅毒」って若い人の病気でしょう？

回答・実はそうでもないのです。22年の報告で最も多い患者は20代ですが、30～50代まで広く報告されています。パリパリ働いている自衛官の年齢層と一致していますね。

梅毒はトレポネーマ・パリダム（「回転した青白い糸」の意）という微生物が原因です。

15～16世紀のヨーロッパで流行し、日本には室町時代に、鉄砲よりも先に到来しました。

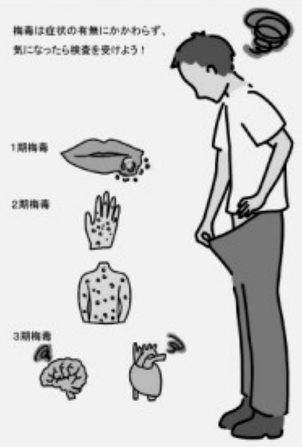
質問　「梅毒」には、どのような病期がありますか？

回答・梅毒は感染してからの期間と症状で分類されており、治療しなければゆっくりと進行します。

①1期梅毒
感染から約3週間で性器や唇などに、硬結（下疳）が出現します。

②2期梅毒
感染から約3カ月で原因微生物のトレポネーマ・パリダムが血液から全身を巡ります。手足の先まで全身に及ぶ小さな赤い発疹、痛みのないしこり（初期梅毒）、脱毛などが生じます。

症状が多彩であるため、偽装の達人（the great imitator）の異名が付けられています。



「梅毒」について
早期発見、早期治療が鍵。パートナーと話し合う勇気を

③潜伏梅毒
これらの症状は治療せずとも自然に消えてしまいます。

原因微生物が体の中にいるにも関わらず、全く自覚症状がない状態を潜伏梅毒と呼びます。Japanese ninjaみたいな奴です。

④3期梅毒
感染から約3年、全身を回りきった梅毒は塊を作り、さまざまな臓器を破壊して（ゴム腫、心血管梅毒）、認知機能低下や人格変化、全身麻痺に至ります（晩期神経梅毒）。現代では、抗菌薬の普及により3期梅毒に至ることはまれです。

質問　「梅毒」には、どのような症状がありますか？

回答・いずれの病期からも起こり得るのが神経梅毒、眼梅毒、耳梅毒です。持続する発熱、手足のしびれなどの神経症状、眼の見えにくさ、耳の聞こえにくさなどが特徴です。

また、妊婦の方から赤ちゃんへ感染し、赤ちゃんにさまざまな問題を起こしてしまう先天梅毒も近年増えてきております。

質問　「梅毒」の治療には、どんなものがありますか？

回答・梅毒は人間の営みを生存戦略に用いた賢い微生物です。症状が多彩で無症状の患者もいることから予防が難しく、早期発見、早期治療が大切です。

血液検査を行うことで梅毒に感染しているかどうかは、ほとんどの病院で検査したその日に分かります。他の性感染症に感染しているこもありますので、併せて検査をすることをおすすめします。

治療は抗菌薬の筋肉注射、内服、点滴静注などがあり、病期に応じて治療方法や治療期間が変わります。感染を拡げないために、また、再感染を防ぐために、パートナーも検査・治療を行うことが大切です。症状の有無に関わらず、気になる方は検査をしてみてはいかがでしょうか。タブーを踏み越えてパートナーと話し合う、その勇気が自身とパートナー、わが子を助けることにつながります。

自衛隊中央病院
診療科感染内科
3等陸佐　芹沢　悠介

隊員の声

大川小学校を研修して

仙台駐屯地　第2陸曹教育隊
第12期生徒陸曹候補生課程　陸士長　小比賀　優輝

石巻市震災遺構の大川小学校に到着して一番最初に感じたものは驚きです。校庭側の校舎の壁はほとんど残っておらず、コンクリートでできた通路が倒れていることに衝撃を受けました。この時初めて津波の恐ろしさを実感しました。

地震が発生した時刻は午後2時46分で、帰りの会が行われていたそうです。

発災から津波が到着するまでの50分間、ずっと児童たちは校庭で待機しており、避難を始めたのは津波が到着する1分前で、先生も児童もみんな津波に流されてしまいました。

この50分の間に、語り部の佐藤さんの息子さんを含む小学6年生の児童数人が、学校のすぐ後ろにある山に避難するよう先生に訴えていたそうです。

その山は各学年が授業でよく使っていた場所で、実際に行ってみると50分もあれば十分避難することができる距離だと感じました。

しかし、その訴えが先生に聞き入れられなかったこと、日頃よく登っていた山にすぐ避難していれば全員が助かっただろうということが聞いて言葉が出てきませんでした。

佐藤さんの説明の中に「児童の安全を守り指導する立場の先生が、児童を避難させる際に正しい判断ができなかったことが原因で児童が助からなかった」という言葉がありました。

この言葉から、将来部下隊員の命を預かり、過酷な任務を成し遂げなければならないという陸曹としての責任の重みを痛切に感じました。

津波の恐ろしさや避難訓練の重要性など、大川小学校の研修は私にとって貴重な経験になりました。

この研修で感じたことを忘れず、今後の自衛官生活の糧にしたいと思います。

（所属・階級は執筆時）

演習場整備を通して学んだこと

久居駐屯地　第33普通科連隊
第1中隊　陸士長　伊藤　栄一郎

私が今回の方面統制春季演習場整備で学んだことは、以下の3点です。

まず、視野を広く持つことの重要性です。昨年度までは、自分の作業で手いっぱいになっており、周囲の状況を把握して整備すべき箇所を考える余裕がありませんでした。

しかし、陸曹の方々から多くの助言を受け、効率的に作業を進める方法を学びました。その結果、心に余裕ができ、周囲を見渡しながら作業を進めることが可能となりました。この経験を通じて、視野を広く持つことで効率が上がり、自分の仕事だけでなくチーム全体のパフォーマンスも向上することを実感しました。

次に、人の印象は努力で変えられるということです。私は、目つきなど見た目の印象が悪く、やる気がないと思われることが多くありました。今回の演習場整備でも、当初の印象は良くなかったと聞いています。

しかし、日々の作業に真摯に取り組むことで、小隊長からの評価が徐々に高まりました。最終的には優秀隊員に選ばれることができ、初めの印象を大きく変えることができました。

この経験から、努力と誠実な態度が人々の評価を変え、自分の可能性を広げることを学びました。

最後に、陸曹の方々の創意工夫です。

彼らは高機動車に積載した資材の上にベニヤ板を敷き、その上にさらに資材を積載するなど、効率を高めるための多くのアイデアを持っていました。

このような工夫により、作業の効率が飛躍的に向上し、限られた時間内で多くの作業をこなすことができました。

また、これらのアイデアは、単なる作業効率の向上に留まらず、全体の士気を高める効果もありました。

私も陸曹になった際には、今回の演習場整備で小隊長や班長が行っていたように、陸士を指導できるよう、引き続き先輩方の良いところを吸収していきたいと思います。

初めての衛生ニュースを作成して

久居駐屯地　第33普通科連隊
本部管理中隊　陸士長　駒田　健人

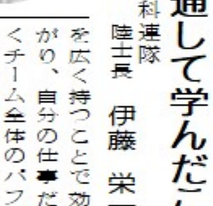
私は今回、方面統制春季演習場整備に参加しました。まずは、演習場整備中に大きな怪我が起こらなかったので良かったと思います。

私は、自衛隊に入隊して3年が経ち、衛生救護員としていろいろな経験をし、隊員を救護することにはある程度の自信がありましたが、今回の演習場整備では今まで全くやったことの無い、しかも、文字で演習場整備で予想される衛生の重要性について人に伝えるという大役を任されることになりました。

演習場整備に来て5日経った頃、突然、衛生ニュースを作成してほしいと言われ、なりました。

自衛隊研修を終えて

三重交通株式会社　平瀬　由乃



重要性を学びました。

教官が「リーダーシップの発揮が難しくてもフォロワーシップは発揮すべき」とおっしゃっていたことは非常に印象に残っています。これは自衛隊だけでなく、どの組織にも当てはまることであり、まさに私に必要なことであると感じました。リーダーシップが足りない分、フォロワーシップを磨いてチームに貢献していきたいと思います。

最後の申告式では、苦手なことにも挑戦すべきだと身をもって感じました。申告を控えて緊張する私に、教官が「失敗は恥ずかしいことではないから、恐れずにやればいい。挑戦することに意味がある」と声をかけてくださいました。その言葉通り、やり切ったことで達成感を得ると同時に、少し自信がついた気がします。企業理念の1つである自己革新を大切にし、新たな気づきや変化のために何事にも挑戦していきたいと思います。

今回の生活体験を通じて、改めて日常のありがたみや時間の大切さを痛感しました。与えられた状況の中で感謝の気持ちを忘れず、立派な社会人になるべく精進してまいります。教官からの「生きろ」という最後の命令。この2日間で教わった精神を大切にし、何があってもこの命令は必ず遂行したいと思います。有意義な時間を過ごさせていただき、本当にありがとうございました。

班長からは文字をどこに配置すると見やすいのか、目につきやすいのか考えながら作成してみなさいとアドバイスをもらいました。初めてのことで難しく頭が疲れましたが勉強になりました。

今回の演習場整備は初めてやることが多かったのですが、知識が豊富でパワフルな渡辺2等陸曹と一緒に仕事することで、衛生ニュースを完成させることができ、良い経験が得られました。

今回の演習場整備では、勉強の重要性や人に伝える難しさを学ぶことができました。今後はこの経験を生かし、より良い衛生科隊員になります。

初めての支援要員

函館駐屯地　第28普通科連隊
2等陸曹　鶴谷　智

訓練名：自衛隊体操　タイトル：開脚跳躍

私は現在、第28普通科連隊本部管理中隊施設作業小隊でドーザ操縦手兼施設係陸曹として勤務しています。

この度、縁あって真駒内駐屯地・第120教育大隊が実施する新隊員前期教育に臨時勤務として参加することになりました。

新隊員教育には以前から興味があったことから、自ら希望して参加する臨時勤務です。しかし、私に務まるのか、また札幌市から約250㎞離れた函館市に残した家族・愛犬のことを考えると不安な気持ちになりました。

3月上旬、第120教育大隊に着隊後、着隊教育を受け、総務陸曹の主任務は「広報写真の撮影・編集等」業をとおして、新隊員が見とうかがい、自信が無いまま勤務が始まりました。

「カメラの電源よし！SDカードよし！」と確認動作からスタートしたため「自分も被教育者だ」と思わされる日もありましたが「色はどうですか？」と丁寧かつ、細部にやさぶ助言・指導により、徐々に満足のいく写真が撮れるようになりました。

その中でも、このコラムに掲載したような特に良く撮れた写真は広報誌やウェブサイトに使用され、とても達成感がありました。

また、写真撮影・編集作せる屈託の無い笑顔・班長たちの真剣な眼差しは、言葉には言い表せないぐらい最高の被写体であり、この貴重な教育現場を広報しているのは自分なんだと感じ、任務の重要性に身震いしてしまいました。

6月下旬に新隊員は修了式を迎え、私の臨時勤務は幕を閉じました。約4カ月間にわたる臨時勤務を経て、広報業務の重要性と伸展性を実感するとともに、とても良い経験をさせていただいたことに感謝しています。

うちのSNS

山形地本鶴岡出張所です！

7月2～4日、三川中学校と庄内農業高校の総合的学習支援に協力し、陸自神町駐屯地、海自新潟基地分遣隊、空自秋田救難隊で見学や各種体験を行いました。

生徒は普段目にすることがない装備品などに興味津々でした。陸・海・空自衛隊の魅力を知ってもらう絶好の機会となりました。